

我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価に関するこれまでの審議経緯

- ・ 第147回食品安全委員会（平成18年6月15日）
プリオン専門調査会の意見を聴いた上で、改めて委員会で本件の取扱いについて検討することを決定。
- ・ 第36回プリオン専門調査会（平成18年6月22日）
米国及びカナダ以外で我が国が牛肉等を輸入している国に係るリスク評価の取扱いについて議論。
- ・ 第149回食品安全委員会（平成18年6月29日）
プリオン専門調査会において、米国及びカナダ以外で我が国が牛肉等を輸入している国について、情報収集により現状把握するとともに、リスク評価の進め方や評価に必要な項目について、議論することを了承。
- ・ 第37回プリオン専門調査会（平成18年8月10日）
我が国が牛肉等を輸入している国についての現状把握及びリスク評価の進め方や評価に必要な項目等について議論。
- ・ 第38回プリオン専門調査会（平成18年9月19日）
山内一也博士（東京大学名誉教授 前プリオン専門委員）からの意見聴取。
- ・ 第39回プリオン専門調査会（平成18年10月13日）
ダグマー・ハイム博士（スイス連邦獣医局 TSE 調整官）からの意見聴取。
- ・ 第40回プリオン専門調査会（平成18年12月13日）
我が国が牛肉等を輸入している国についての現状把握及びリスク評価の進め方や評価に必要な項目等について議論。結果として、これまでの審議を踏まえたとりまとめ案を作成することで合意。
- ・ 第41回プリオン専門調査会（平成19年2月1日）
クン・ファン・ダイク氏（EC 保健・消費者保護総局 TSE 部門長）からの意見聴取。
- ・ 第42回プリオン専門調査会（平成19年2月14日）
我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価の実施に関するプリオン専門調査会の見解案を基に審議。最終的な見解案を専門委員に確認後、食品安全委員会に報告することで基本的に合意。